

平成26年度「読書に関する調査」の結果

平成27年3月
福島県教育委員会

【調査結果概要】

平成26年11月の1か月間における平均読書冊数は、小学生は10.5冊、中学生は2.5冊、高校生（高校生のみ12月実施）は1.4冊であり、昨年度調査と比較すると、小学生は0.4冊、中高校生はともに0.1冊減少した。

「読まない」と回答した小学生の割合は1.6%、中学生の割合は16.1%、高校生の割合は51.5%であり、昨年度調査と比較すると、小学生は0.1ポイント増加し、中学生は0.2ポイント減少した。また、高校生は2.5ポイント増加している。

「読まない理由」の最も大きな割合を占めたのが、小学生、高校生が「マンガ等が楽しい」、中学生は「勉強等で忙しい」であり、次に続いているのが、小学生は「ゲームが楽しい」、「遊びが楽しい」、中学生は「マンガ等が楽しい」「読まなくても困らない」、高校生は「部活動で時間がない」「読まなくても困らない」であった。また、読書のきっかけについて、小学生の大半が「学校の図書館で見つけた」と回答しており、中学生及び高校生は「本屋で見つけた」と回答した割合が高い。

平成16年度からの調査結果の9年間の推移では、小学生の読書量は2倍以上、中学生についても約1.5倍以上となっているが、平成23年度調査以降と比較すると大きな変化は見られなかった。しかし、1か月間に1冊も読まない中学生の、特に1・2年生において減少傾向が見られるなど、学年に着目した場合にこれまでの着実な取組の成果が表れている。

今後は、特に小学校の上学年、受験を控えた中学3年生や高校生など、それぞれの発達段階や学習・生活環境等に即したきめ細かな読書指導を充実していくことが望まれる。

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く考えるなど、生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。

県教育委員会においては、これまでの施策の成果と課題を踏まえ、平成27年2月に「福島県子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定したところであるが、施策を評価するとともに今後の施策へ生かすため、本県児童生徒の読書に関する調査を実施している。

- ・第1回調査：平成16年10月実施
- ・第2回調査：平成18年4月実施
- ・第3回調査：平成19年11月実施（※以後、毎年11月に実施することとする）
- ・第10回調査：平成26年11月実施（今回実施）

※ 高等学校においても12月に同様の調査を実施した。（平成21年度から）

(2) 調査項目

- ア 各学年における児童生徒の1か月の読書冊数（学校及び家庭等での読書冊数の合計）
- イ 読書しない理由に関するもの（最も当てはまるものを1つ選択）
- ウ 読書するきっかけに関するもの（最も当てはまるものを1つ選択）
- エ 本を手に入れた方法に関するもの（最も当てはまるものを1つ選択）

(3) 調査対象校及び調査人数について

- ア 調査対象校：県内すべての公立小・中学校（分校は除く）
及びすべての県立高等学校（1、2年生、分校を含む）
- イ 調査人数：各学年1学級を選定する。（すべての児童生徒に調査することも可）

小学校	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
調査人数	11,620	12,026	12,043	12,658	12,960	13,270	74,577

※単位はいずれも人

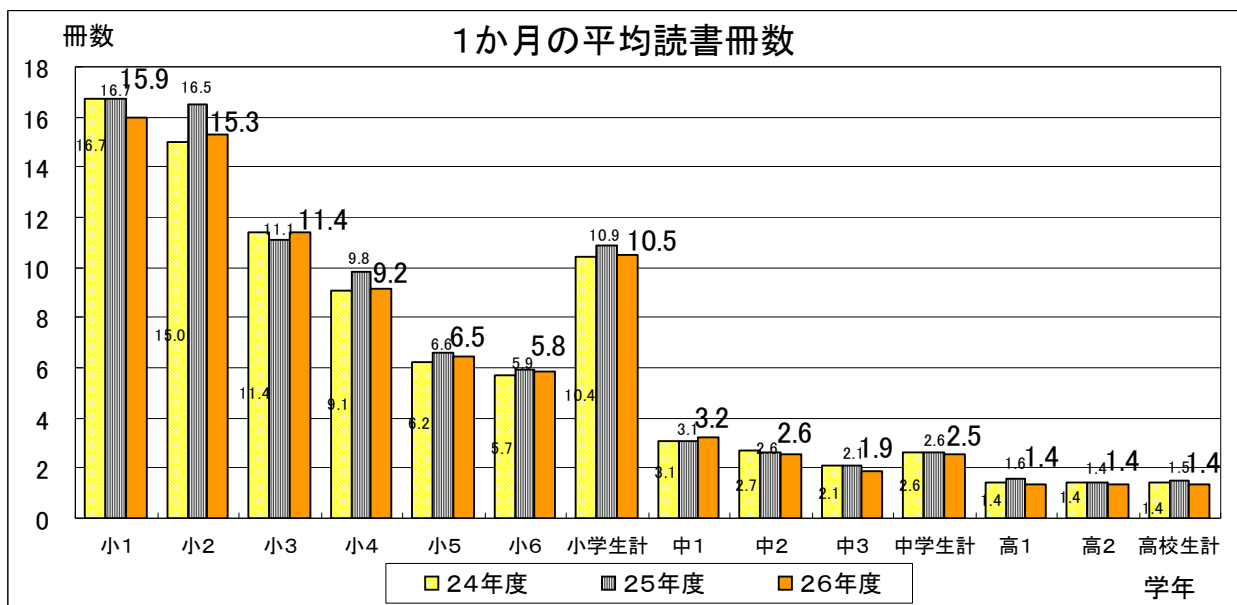
中学校	1年生	2年生	3年生	合計
調査人数	8,263	8,626	8,670	25,559

高等学校	1年生	2年生	合計
調査人数	4,272	4,073	8,345

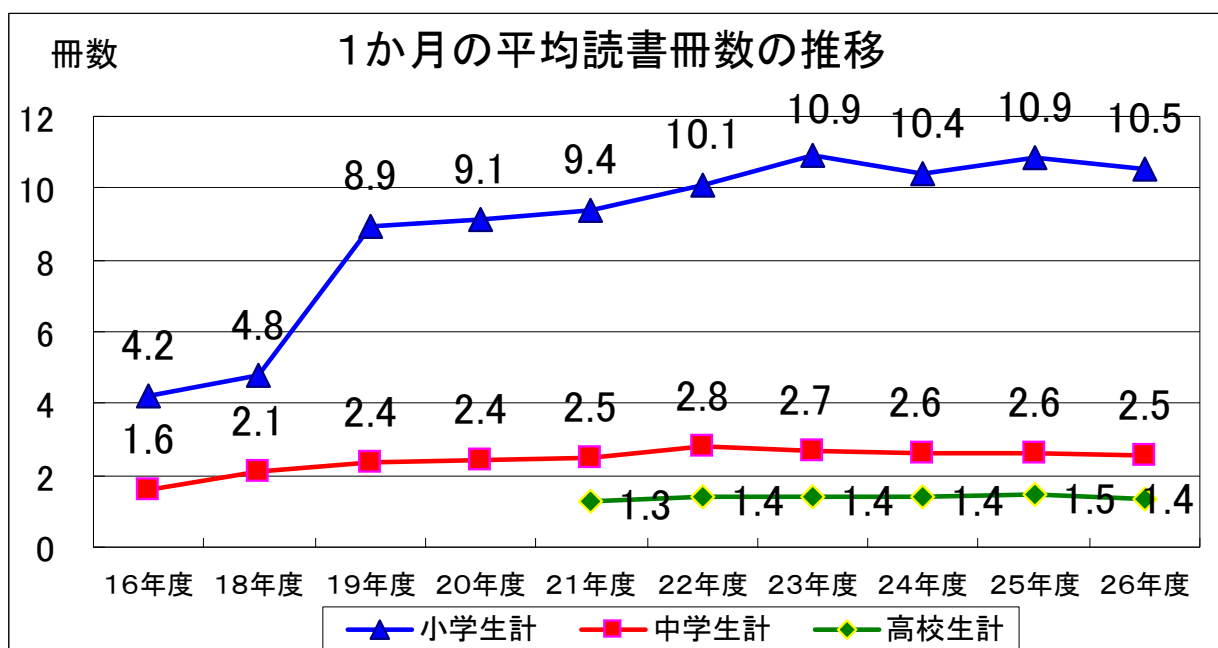
2 1か月の平均読書冊数について（【グラフ1】及び【グラフ2】参照）

- 平成26年11月調査における1か月の平均読書冊数は、小学生全体で10.5冊、中学生全体で2.5冊、高校生全体で1.4冊であった。昨年度調査と比較すると、小学生は0.4冊、中高生はともに0.1冊減少した。
- 1か月の平均読書冊数は、小学校1年生の15.9冊が最高であり、小・中・高校生ともに学年が上がるにしたがって減少している。
- 小学生全体では、「8冊以上読んだ」と回答した児童の割合が47.9%（昨年度は48.7%）で最も高い。中学生全体では、「1冊読んだ」と回答した生徒の割合が24.4%（昨年度は24.0%）で最も高く、「2冊読んだ」と回答した生徒の割合が21.9%（昨年度は22.2%）でこれに続いている。高校生全体では、「読まない」と回答した生徒の割合が51.5%（昨年度は49.0%）で最も高く、「1冊読んだ」と回答した生徒の割合が20.5%（昨年度は21.3%）でこれに続いている。

【グラフ1】



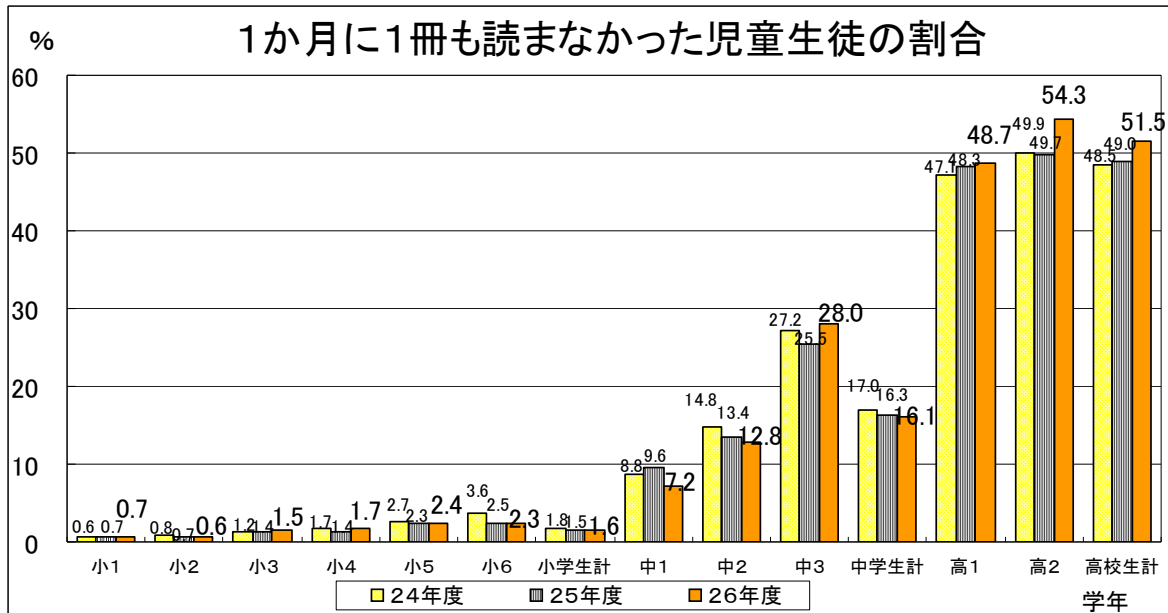
【グラフ2】



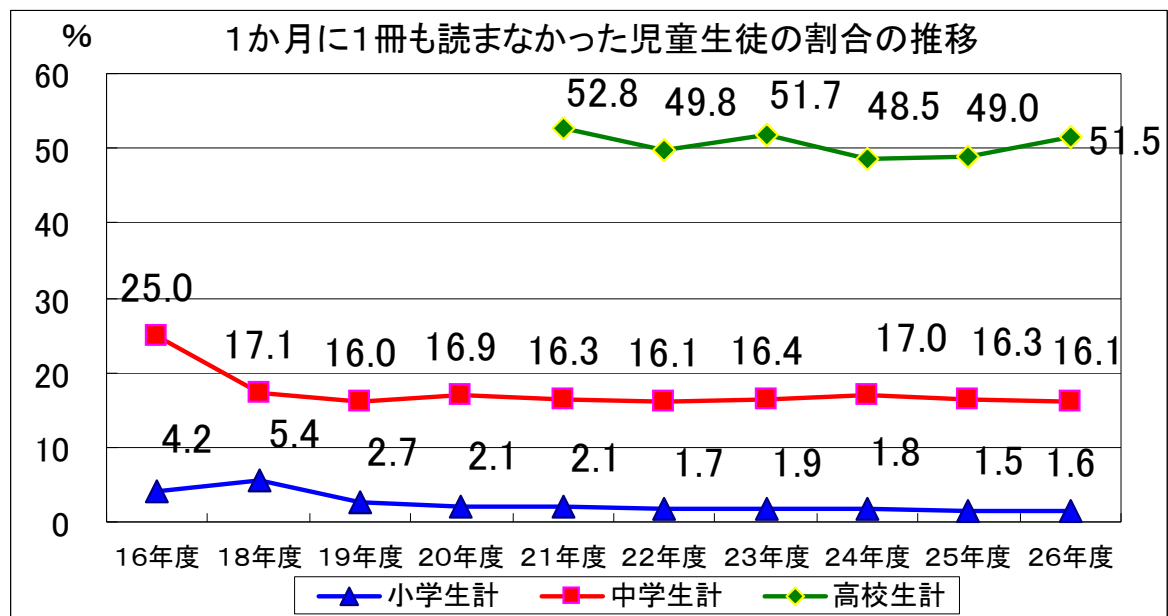
3 「読まない」と回答した児童生徒について（【グラフ3】及び【グラフ4】参照）

- 「読まない」と回答した児童生徒の割合は、小学生が1.6%、中学生が16.1%、高校生が51.5%であり、昨年度調査と比較すると、中学生は0.2ポイント減少したが、小学生、高校生はそれぞれ0.1ポイント、2.5ポイント増加している。
- 「読まない」と回答した児童生徒の割合は、小学校2年生が0.6%と最も低く、高校2年生が54.3%と最も高い。小・中・高校生ともに学年が上がるにしたがって「読まない」と回答した割合が高くなる傾向がある。
- 「読まない」と回答した小学生の「読まない理由」については、「マンガ等が楽しい」と回答した割合が22.1%で最も高く、「ゲームが楽しい」が17.2%「遊びが楽しい」が14.0%と続いている。
- 「読まない」と回答した中学生の「読まない理由」については、「勉強等で忙しい」と回答した割合が28.3%で最も高く、「マンガ等が楽しい」が22.1%、「読まなくても困らない」が9.9%と続いている。
- 「読まない」と回答した高校生の「読まない理由」については、「マンガ等が楽しい」と回答した割合が20.6%で最も高く、「部活動で時間がない」と回答している割合が18.0%とこれに続いている。

【グラフ3】



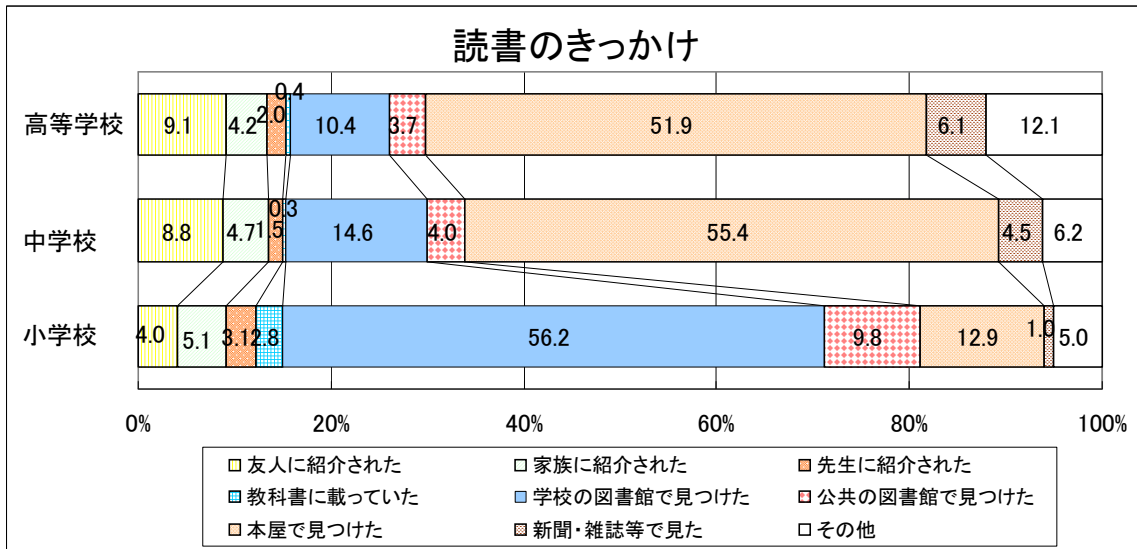
【グラフ4】



4 「読書のきっかけ」について（【グラフ5】参照）

- 小学校では、「学校の図書館で見つけた」と回答した児童の割合がすべての学年において最も高く、小学生全体では56.2%を占める。続いて「本屋で見つけた」と回答した児童の割合が12.9%、「公共の図書館で見つけた」と回答した児童の割合が9.8%となっている。
- 中学校では、「本屋で見つけた」と回答した生徒の割合がすべての学年において最も高く、中学生全体では55.4%を占める。続いて「学校の図書館で見つけた」と回答した生徒の割合が14.6%、「友人に紹介された」と回答した生徒の割合が8.8%となっている。
- 高等学校においても中学校と同様の傾向が見られ、「本屋で見つけた」と回答した生徒の割合が最も高く、高校生全体で51.9%を占めており、「学校の図書館で見つけた」が10.4%、「友人に紹介された」が9.1%となっている。
- 小・中学校においては、「学校の図書館で見つけた」割合が昨年度よりも更に高くなっている。

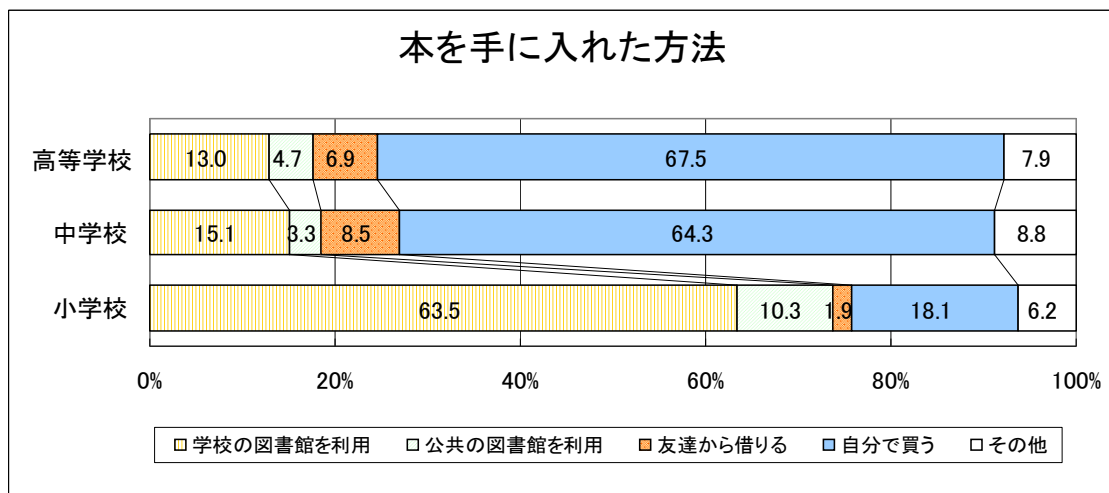
【グラフ5】



5 「本を手に入れた方法」について（【グラフ6】参照）

- 小学校では、「学校の図書館を利用」と回答した児童の割合がすべての学年において最も高く、小学生全体では63.5%を占める。続いて「自分で買う」と回答した児童の割合が18.1%、「公共の図書館を利用」と回答した児童の割合が10.3%となっている。
- 中学校では、「自分で買う」と回答した生徒の割合がすべての学年で最も高く、中学生全体では64.3%を占める。続いて「学校の図書館を利用」と回答した生徒の割合が15.1%、「友達から借りる」と回答した生徒の割合が8.5%となっている。
- 高等学校においても中学校と同様の傾向が見られ、「自分で買う」と回答した生徒の割合がすべての学年において最も高く、高校生全体では67.5%で、「学校の図書館を利用」と回答した生徒の割合が13.0%、「友達から借りる」と回答した生徒の割合が6.9%となっている。

【グラフ6】



【資料】 子どもたちの読書活動を推進していくために

今回の調査結果を踏まえ、学校図書館の目的や役割を再認識し、学校図書館の更なる利活用を図り、子どもたちの読書活動を推進していくことが望まれます。

1 学校図書館の目的・役割

(1) 児童生徒の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能 《児童生徒の「読書センター」としての学校図書館》

学校図書館は、児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心をはぐくむ、自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能を果たします。



《児童生徒の「学習・情報センター」としての機能》

学校図書館は、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」としての機能を果たします。

(2) 教員のサポート機能



学校図書館の計画的な利用とその機能の活用（学習指導要領（総則）は、各教科等を通じ、どの教員にも求められます。指導の改善・充実のため、それぞれの教員が、学校図書館の機能を有効に活用するスキルを身に付けていくことが大切です。

一方、学校図書館法において、学校図書館は、教員のために図書館資料の収集・整理・保存、供用を行う施設としても位置付けられています。

教科等指導のための研究文献や教師向け指導資料、教材として使える図書などを集めて教員が使えるようにしたり、こうした図書資料のレファレンスや取り寄せ等のサービスを行ったりする教員のサポート機能も、学校図書館が本来行うべき重要な役割の一つです。

(3) その他の機能

① 子どもたちの「居場所」の提供

昼休みや放課後の学校図書館は、教室内の固定された人間関係から離れ、児童生徒が一人で過したり、年齢の異なる様々な人々とのかかわりをもったりすることができる場となります。児童生徒がこのような学校図書館を、校内における「心の居場所」としていることも少なくありません。

また、放課後の学校図書館は、放課後の子どもたちに安全・安心に過ごせる場を提供することにもなっています。

② 家庭・地域における読書活動の支援

学校図書館を、学校の児童生徒や教員だけでなく、地域住民全体のための文化施設として有効に活用できるようにすべきとする要請も多くなっています。このような要請の下、例えば、下記のような取組を通じ、地域における読書活動の核として、学校図書館の施設等やその機能の活用を図っている例もあります。

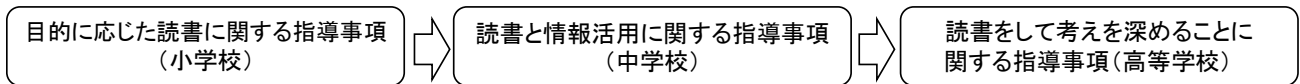
- ・ 家庭と連携して読書活動を進めるため、親子貸出しの実施など、保護者等の学校図書館利用を可能とする取組
- ・ 学校図書館を地域住民全体の文化施設と位置付け、放課後や週末に、他校（他校種の学校）の児童生徒や地域の大人にも開放する取組



2 読書活動の充実に向けて

(1) 読書について

学習指導要領では、国語科において、以下のように読書に関する指導事項が盛り込まれています。



読書については、国語科だけでなく全ての教科等において、どのような本を選ぶのかといった選書に関する視点やその本をどのように読んでいくのかといった読みの方法に関する視点など、多様な視点からアプローチする必要があります。

私たちが図書館や書店でたくさんの本を前にした際、目的に合った本にたどり着くまでに、例えば以下のような観点から本を選ぶことがあるのではないのでしょうか。

題名、種類（ジャンル）、索引、表紙、目次、厚さ、文字の大きさや量、イラストや写真、図表、宣伝や紹介文、著作者、「まえがき」や「あとがき」、奥付、映画化・ドラマ化された、書評、売れ行き情報、参考文献リスト、紹介・推薦された、出版社、本の大きさ・形状……

一方、音読、黙読、精読、多読、乱読、再読、速読、通読、摘読、偶然読み、調べ読み、飛ばし読み、斜め読み……等々、「読」の付く言葉はたくさんあります。つまり、多様な読み方があるということを考えてみる必要があります。読む目的に応じて本や資料を選ぶ力や読み方も自在に変える力を育てていくことが重要になってくると思われます。

このように、読書について、目的、選書方法や読みの方略などの視点から分析的に捉え直し、それぞれに応じた具体的な方法等を提示することで、子どもたちをより楽しく、深く本の世界に誘うことができるのだと考えられます。

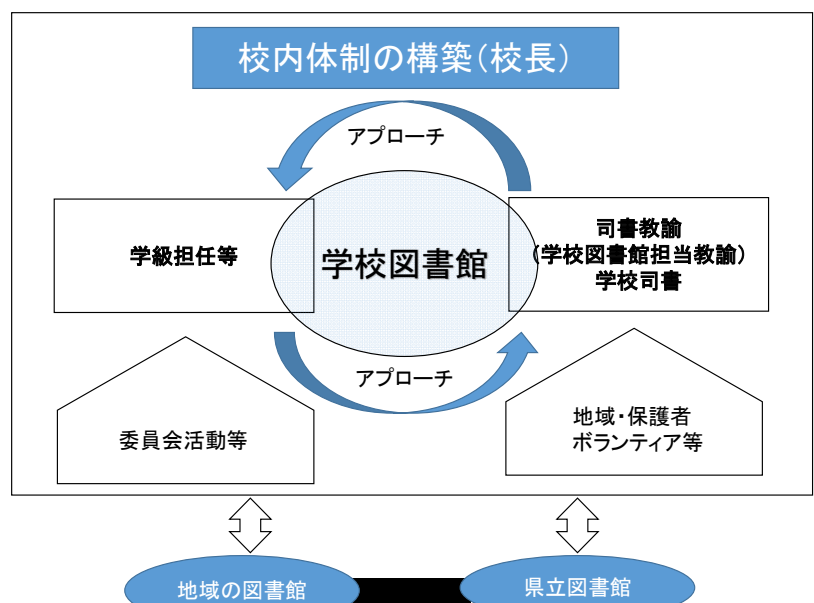
(2) 学校における読書活動の推進

① 全教員が日々の教育で学校図書館活用を

学校図書館は、「学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として」います。つまり、学校図書館の活用は、一部の本好きの教員が個人の特性を生かして行われるものではなく、全ての学校で、全ての教員が日々の教育活動を通して行われるべきものです。

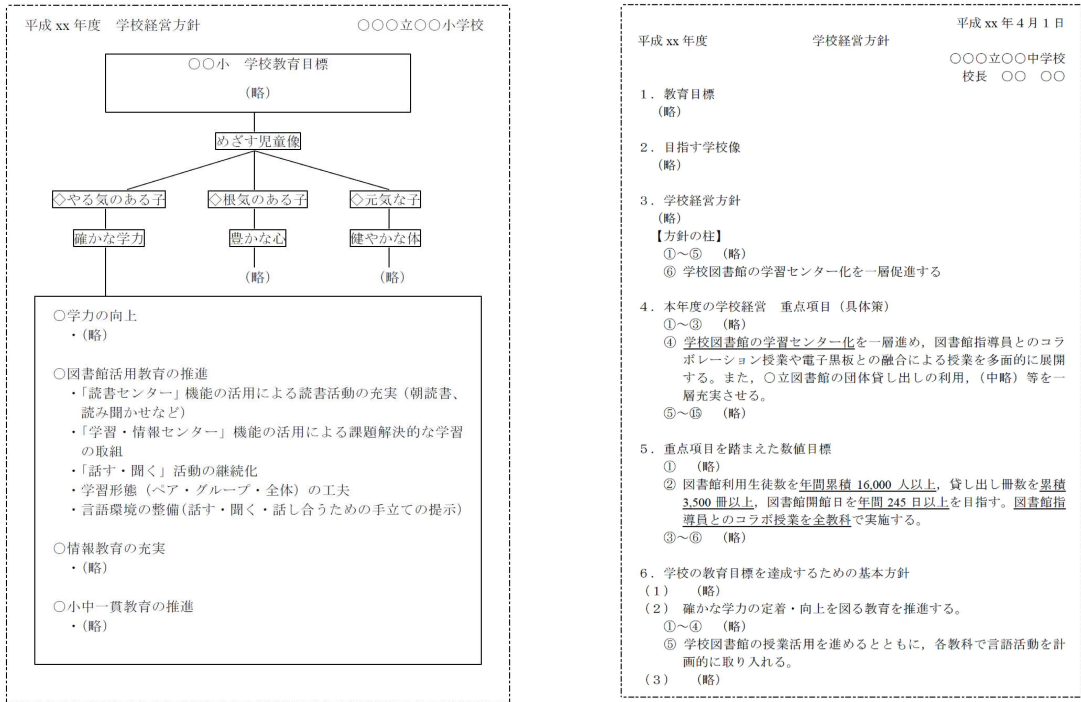
そのためには、まず、個々の教員が教育活動において学校図書館を利用することが求められます。その指針を示すのが、校長の学校経営方針であり、牽引役になるのが司書教諭です。また、司書教諭と学校司書両者の授業支援等が必要です。

右は、校外の関係機関等も視野に入れた学校図書館活用のイメージ図です。また、次ページの表は、学校経営方針において学校図書館の利活用を位置付けている例（サンプル）です。このように、大きな視野から学校図書館の利活用を位置付けていくことで、各教科等における利活用の促進がよりいっそう図られます。



〈 学校図書館活用のイメージ図 〉

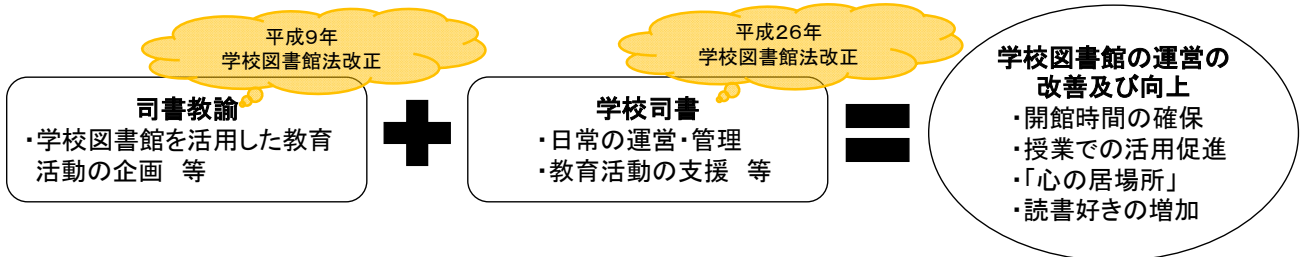
〈 学校経営方針において学校図書館の利活用を位置付けている例 〉



「これからの学校図書館担当職員に求められる役割・職務及びその資質能力の向上方策等について(報告)」より
(学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議)

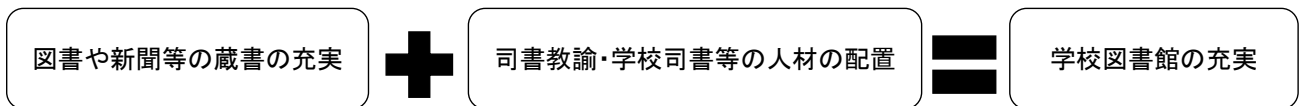
② 司書教諭と学校司書の役割

学校図書館の運営は、司書教諭と学校司書が協働して行うことが求められます。



	司書教諭	学校司書
設置根拠	学校図書館法の規定により、12学級以上の学校に必置。 《学校図書館法第5条第1項》 ※11学級以下の学校については、当分の間、設置を猶予。	学校図書館法の規定により、学校には、司書教諭に加え、学校司書を置くよう努めなければならないとされている。 《学校図書館法第6条第1項》
業務内容	学校図書館の専門的職務を掌る。 ○ 学校図書館資料の選択・収集・提供。 ○ 学校図書館を活用した教育活動の企画の実施。 ○ 教育課程の編成に関する他教員への助言。	※制度上の業務の定めなし。 ○ 図書館資料の管理、館内閲覧や館外貸出等の業務。 ○ 学校図書館を活用した教科等の指導に関する支援。
位置付け	教諭等をもって充てる。 《学校図書館法第5条第2項前段》	※制度上の規定なし。 ○ 現に置かれている職員は、学校教育法上は、学校事務職員《学校教育法第37条第1項・第14項等》又は「その他必要な職員」《学校教育法第37条第2項等》として任用。
資格	司書教諭の講習(5科目10単位)を修了した者。 《学校図書館法第5条第2項》	※制度上の資格の定めなし。 ○ 各地方公共団体における採用時には、それぞれの実情に応じ、司書や司書教諭、教諭免許状、相当実務経験等の資格を求める等の資格要件を定めて募集。

③ 学校図書館の充実



学校図書館の充実には、図書や新聞等の蔵書の充実とともに、司書教諭・学校司書等の人材の配置が欠かせません。

これらの充実に向けて、平成24年度から国による学校図書館関係の地方財政措置が下（左）のように取られています。この措置の活用のためには、各市町村による予算化が必要です。なお、学校図書館図書費に係る資料（全国値）を下（右）に示します。

<p>「学校図書館図書整備5か年計画」</p> <p>◆平成24年度からの5年間で学校図書館図書標準の達成を目指す <財政規模> 約200億円（5か年計約1,000億円） <small>（内訳）増加冊数分：約430億円（単年度約86億円） 更新冊数分：約570億円（単年度約114億円）</small></p> <p>◆学校図書館への新聞配備 <財政規模> 約15億円（5か年計約75億円） <small>（内訳）新聞1紙配備分</small></p>
<p>学校図書館担当職員（いわゆる「学校司書」）の配置</p> <p><財政規模> 約150億円 <small>（内訳）1週当たり30時間の職員をおおむね2校に1名程度配置することが可能な規模を措置</small></p>

学校図書館図書費単位当たりの決算額
（平成24年度公立小・中学校）

1学校当たり	1学級当たり	児童生徒1人当たり
(51万円)	(40,441円)	(1,572円)
50万円	39,593円	1,539円

（ ）内の金額は、平成22年度補正予算で措置された「住民生活に光をそそぐ交付金」などの国から交付される資金を財源とする図書購入に係る決算額を含んだもの。

次は、本県における各学校の学校図書館の状況です。新聞の配備状況は、過去の本県の調査結果と比較すると高くなっている様子が見られます（平成24年度の配備率 小学校15.4%、中学校6.4%、高等学校81.8%）。また、12学級以上の学校について、司書教諭は100%発令されていますが、11学級以下でも発令する学校が増えています。（平成24年度の発令率 小学校7.4%、中学校8.4%、高等学校23.3%）各学校における学校図書館への取組の意識が高くなっていることが伺えます。

各学校の学校図書館の状況（H26.5.1現在）

調査項目	小学校	中学校	高等学校
学校図書館図書標準の達成状況(H25年度末)	82.7	64.2	
新聞配備の状況 (配備している学校における配備紙数の合計)	29.6 (168紙)	15.9 (64紙)	81.8 (249紙)
蔵書のデータベース化の状況	61.1	57.1	59.1
司書教諭の発令状況(11学級以下)	10.2	12.9	34.3
学校司書の配置状況	31.7	24.8	63.6

平成26年度「学校図書館の現状に関する調査」文部科学省 福島県調査結果

学校図書館に新聞を配備することには、どのような意義があるのでしょうか。まず、学校図書館に行けば、最新の情報が手に入るということを示すことになります。新しい新聞に替えるという作業だけでも、図書館の空気が変わります。このような日常の小さな変化がとても重要です。

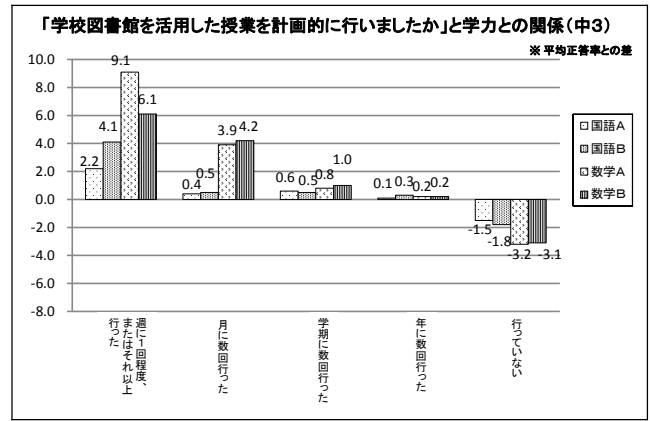
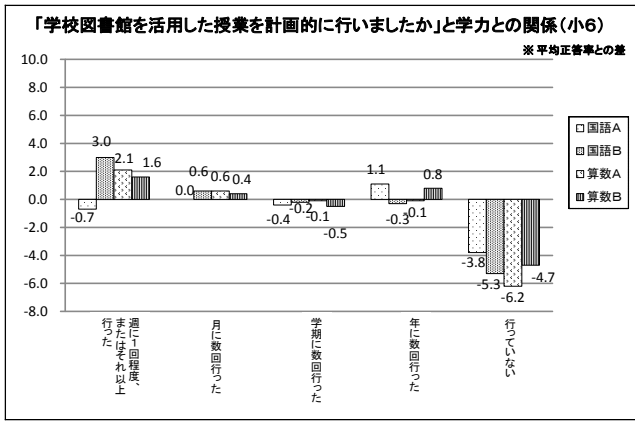
また、学校で新聞を活用する意義は、生きた教材を教育に導入することです。自分が生きている社会を教材に、課題を見付け、考え、解決する力を養おうとするN I E（Newspaper In Education）の取組では、教師の共通の手応えとして、「リアリティーのある教育が子どもたちの学ぶ意欲をかきたて、『教室の雰囲気が一変する』」と報告されています。（「新聞活用の工夫提案」社団法人日本新聞協会）

新聞を活用すること自体が目的ではありません。より効果的な教育活動を推進するため、新聞も活用することを視野に目的や意図を明確にした取組が期待されます。

(3) 読書と学力について

① 学校における学校図書館の活用

これまで、学校図書館の活用とその充実の重要性について述べてきましたが、学校図書館を活用した授業を計画的に行っている学校の学力は、次ページに示すように高い傾向が見られました。学校図書館の活用に当たっては、計画的な取組が重要です。



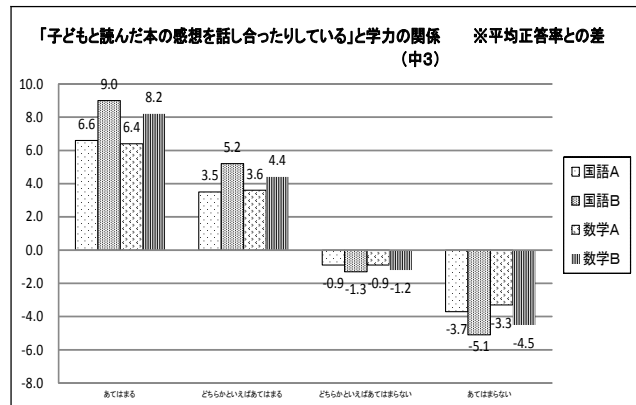
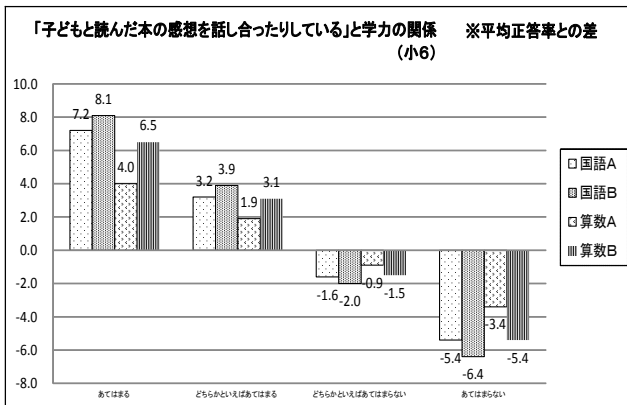
〈平成26年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査と教科のクロス集計結果(福島県)〉

また、学校質問紙調査においては、「総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る追求の過程を意識した指導をしていますか」という質問において、「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答している学校の学力も高い傾向が見られました。

総合的な学習の時間における学校図書館の活用は、小・中・高等学校それぞれに学習指導要領に記載があります。課題追求のプロセスを重視する総合的な学習においては、多様な方法で情報を収集、分析する必要があり、学校図書館の活用は、その方法の中の重要な一部として考えることができます。

② 家庭における保護者の意識

家庭における保護者の意識と子どもの学力について、「平成25年度全国学力・学習状況調査の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」(お茶の水女子大学)では、次のように述べています。「(保護者の)本や新聞を読むことに関する働きかけは、子どもの学力と非常に強い関係が見られる。(中略)特に注目されるのは、『子どもと読んだ本の感想を話し合ったりしている』家庭の子どもは、B問題の正答率が高いことである。」下のグラフが示すように、特に中学生はその傾向が顕著な状況が見られます。



〈平成25年度全国学力・学習状況調査 保護者に対する調査と教科のクロス集計結果(全国)〉

この報告書においては、さらに次のように述べています。「家庭における読書活動、生活習慣に関する働きかけ、親子間のコミュニケーション、親子で行う文化的活動、いずれも学力に一定のプラスの影響がある中で、特に家庭における読書活動が子どもの学力に最も強い影響力を及ぼすことが明らかになった。(中略) PISAの保護者質問紙を実施している13カ国の分析でも同様の結果が示されている。家庭教育の推進にあたっては、早寝早起きなどの生活習慣のみならず、家庭における読書活動をいかに充実させていくかが重要であると思われる。」

家庭における読書活動、中でも読書を通した子どもと保護者のコミュニケーションなど、今後更に大切にしていく必要があると思われます。



(4) 各学校における読書活動等への取組状況

各学校におけるこれまでの読書活動への取組状況です。小学校においては、多様な読書活動を推進している学校の割合が100%となりました。

(%)

調査項目	小学校	中学校	高等学校
全校一斉の読書活動を実施している学校の割合	98.1 (96.8)	84.5 (80.3)	23.9 (28.4)
多様な読書活動推進の取組を実施している学校の割合	100.0 (99.8)	95.1 (93.9)	73.9 (76.1)
ボランティアを活用している学校の割合	74.7 (76.8)	11.1 (13.2)	2.3 (2.3)
公共図書館との連携を実施している学校の割合	71.7 (74.4)	32.3 (32.0)	58.0 (56.8)

平成26年度「学校図書館の現状に関する調査」文部科学省 福島県調査結果
()は平成25年度「読書に関する調査」結果 福島県教育委員会

(5) 学校全体で多様な読書活動の取組を

ここでは、特に小学校高学年から中学校、高等学校において気軽に実践できる取組を紹介します。

① ブックレビュー

各教員が各授業の始めの数分程度、本を毎時間1冊紹介する取組です。各教員が授業に関連付けるなどして本の紹介や本のお話をします。「季節・行事等に合わせて」、「授業との関連・発展させるものとして」、「話題の本」、「中・高校生が主人公の本」など、テーマを決めるなどして見通しをもって継続的・組織的に取り組んだ成果が報告されています。

また、学校行事など、ことあるごとに本を紹介する取組もお勧めです。

② ハブとしての学校図書館

「ハブ」とはつなげる中心にあるものという意味で、授業での活用の他、作品等を図書館で展示する等の取組です。自分や友人の作品や写真が展示されるとうれしいし、人が集まり、話も弾みます。その時、多くの本と出会うこともできます。もちろん、ぼんやり過ごす、憩いの場としての機能もあります。

(例) □ 管弦楽部の演奏会 □ 授業作品(書道や絵画等々)の展示 □ 演劇部のDVD鑑賞会

なお、学校図書館法においては、学校図書館利用の方法として、「読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと」とあります。司書教諭や学校司書が中心となって学校全体に呼びかけ、学校図書館に人を集めるための楽しい方策を募集し、実践してみたいかがでしょうか。

③ ブッククラブ

児童生徒が読書を楽しむためのいわばサークルですが、国語等の学習で応用することも可能です。「読書がさらに楽しくなるブッククラブ」(吉田新一郎著)では、次のような方法を紹介しています。

- ① 教師があらかじめ選んだ本の中から各自が読みたい本を選ぶ。
- ② 選んだ本でグループをつくる。
- ③ 各グループは自分たちで計画を立てて読み進む。
- ④ 実際に何を、どう話し合うかはメンバーが決めて話し合い、毎回終了時に振り返りを行う。
- ⑤ 読み終わったら、自分たちが読んだ本を全体に紹介する。

《参考文献》

「これからの学校図書館担当職員に求められる役割・職務及びその資質能力の向上方策等について(報告)」学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議

「平成25年度全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」国立大学法人お茶の水女子大学

「第63回福島県学校図書館研究大会 東白川大会要項」福島県学校図書館協議会

「平成26年度福島県高等学校図書館白書」福島県高等学校司書研修会

「学校図書館(No.770)」公益財団法人 全国学校図書館協議会

「読書イベントアイデア集(中・高校生編)」高見京子(全国学校図書館協議会)

「読書がさらに楽しくなるブッククラブ」吉田新一郎(新評論)

「新聞活用の工夫提案 NIEガイドブック(小学校編・中学校編)」社団法人日本新聞協会

「第三次福島県子ども読書活動推進計画」福島県教育委員会

平成26年度「読書に関する調査」集計表 ～ 11月の1か月間に本を何冊読んだか～

平成27年3月 義務教育課
(人)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学生計	割合(%)	中1	中2	中3	中学生計	割合(%)	高1	高2	高校生計	割合(%)
調査人数		11,620	12,026	12,043	12,658	12,960	13,270	74,577		8,263	8,626	8,670	25,559		4,272	4,073	8,345	
読書冊数(1か月当たり)	読まない	77	77	177	219	307	309	1,166	1.6	596	1,101	2,425	4,122	16.1	2,082	2,212	4,294	51.5
	1冊程度	221	330	525	687	1,060	1,215	4,038	5.4	1,610	2,172	2,456	6,238	24.4	957	755	1,712	20.5
	2冊程度	274	390	615	839	1,440	1,758	5,316	7.1	1,926	2,069	1,603	5,598	21.9	548	485	1,033	12.4
	3冊程度	384	560	741	1,037	1,668	1,989	6,379	8.6	1,607	1,439	966	4,012	15.7	266	232	498	6.0
	4冊程度	484	559	802	1,021	1,477	1,670	6,013	8.1	854	673	438	1,965	7.7	125	102	227	2.7
	5冊程度	640	702	999	1,239	1,417	1,475	6,472	8.7	632	424	271	1,327	5.2	74	76	150	1.8
	6冊程度	563	612	898	1,055	1,093	984	5,205	7.0	276	208	131	615	2.4	56	45	101	1.2
	7冊程度	600	579	688	908	818	651	4,244	5.7	191	119	102	412	1.6	29	27	56	0.7
	8冊以上	8,377	8,217	6,598	5,653	3,680	3,219	35,744	47.9	571	421	278	1,270	5.0	135	139	274	3.3
	合計読書冊数	185,245	184,384	137,623	115,959	83,777	77,333	784,321		26,512	22,188	16,354	65,054		5,876	5,499	11,375	
平均読書冊数	15.9	15.3	11.4	9.2	6.5	5.8	10.5		3.2	2.6	1.9	2.5		1.4	1.4	1.4		
読まない理由	勉強等で忙しい	18	12	19	22	23	13	107	9.2	86	111	968	1,165	28.3	219	232	451	10.5
	部活動で時間がない	0	2	9	4	15	11	41	3.5	54	95	15	164	4.0	416	357	773	18.0
	テレビが楽しい	2	2	7	9	16	14	50	4.3	49	85	95	229	5.6	131	155	286	6.7
	ゲームが楽しい	10	7	36	29	67	52	201	17.2	76	124	123	323	7.8	174	180	354	8.2
	マンガ等が楽しい	5	10	20	56	69	98	258	22.1	105	294	511	910	22.1	413	470	883	20.6
	遊びが楽しい	15	11	29	25	41	42	163	14.0	47	77	89	213	5.2	136	135	271	6.3
	どんな本を読んでいいかわからない	5	10	21	18	20	11	85	7.3	27	30	104	161	3.9	75	95	170	4.0
	読まなくても困らない	3	0	3	12	13	17	48	4.1	38	110	259	407	9.9	242	263	505	11.8
	本が嫌い	6	10	20	25	23	33	117	10.0	79	109	171	359	8.7	105	132	237	5.5
その他	13	13	13	19	20	18	96	8.2	35	66	90	191	4.6	171	193	364	8.5	
読書のきっかけ	友人に紹介された	442	453	485	445	518	597	2,940	4.0	586	715	595	1,896	8.8	187	181	368	9.1
	家族に紹介された	687	765	697	587	531	504	3,771	5.1	462	290	262	1,014	4.7	105	66	171	4.2
	先生に紹介された	476	436	324	249	290	487	2,262	3.1	110	122	84	316	1.5	52	31	83	2.0
	教科書に載っていた	373	626	339	250	191	281	2,060	2.8	22	19	24	65	0.3	8	7	15	0.4
	学校の図書館で見つけた	7,763	7,125	6,826	7,281	6,456	5,820	41,271	56.2	1,252	1,048	822	3,122	14.6	214	207	421	10.4
	公共の図書館で見つけた	903	1,379	1,289	1,296	1,302	1,040	7,209	9.8	387	247	215	849	4.0	85	65	150	3.7
	本屋で見つけた	583	691	989	1,496	2,413	3,318	9,490	12.9	4,022	4,286	3,568	11,876	55.4	1,149	954	2,103	51.9
	新聞・雑誌等で見た	49	107	92	143	181	185	757	1.0	283	342	342	967	4.5	125	124	249	6.1
その他	267	367	825	692	771	729	3,651	5.0	543	456	333	1,332	6.2	265	226	491	12.1	
本を手に入れた方法	学校の図書館を利用	9,013	8,648	7,729	7,916	6,765	6,524	46,595	63.5	1,338	1,089	816	3,243	15.1	272	253	525	13.0
	公共の図書館を利用	1,003	1,500	1,405	1,344	1,318	1,013	7,583	10.3	306	191	211	708	3.3	106	86	192	4.7
	友達から借りる	91	102	151	201	352	484	1,381	1.9	482	737	602	1,821	8.5	139	140	279	6.9
	自分で買う	1,003	1,155	1,656	2,151	3,220	4,102	13,287	18.1	4,795	4,875	4,104	13,774	64.3	1,514	1,222	2,736	67.5
	その他	433	544	925	827	998	838	4,565	6.2	746	633	512	1,891	8.8	159	160	319	7.9